

当院では札幌医科大学附属病院自主臨床研究審査委員会で承認された下記の臨床研究に協力しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。尚、ご協力いただけない場合も患者様への不利益は一切ございません。

研究課題名	RS ウイルス感染症入院症例の後ろ向き観察研究による重症化因子の探索と臨床像の検討
当院の研究責任者	小児科 永井和重
他の研究機関の研究責任者	札幌医科大学附属病院 小児科 平川賢史
研究の目的	乳幼児のRS ウイルス感染症は重症化しやすいことが知られていますが、その詳しいメカニズムは良くわかっていません。本研究では多数例のRS ウイルス感染症入院患者の臨床情報、臨床検査データ、並びに臨床検体を用いて重症化因子を探索することを目的としました。
研究期間	2022年12月8日～2038年3月31日
研究対象者	1965年1月1日～2036年12月31日の間に当院小児科において、RS ウイルス感染症と診断されて入院加療を受けられた小児患者。
研究方法	研究対象者の診療情報をもとに臨床経過や検査データを収集する後ろ向き観察研究です。検査で使用した血液や鼻汁の凍結保存されていた残検体を用いて、札幌医科大学小児科学教室において、炎症に関する因子を測定し、RS ウイルス遺伝子検査を実施します。
試料／情報の他の研究機関への提供	収集された情報から住所、氏名、生年月日など個人が特定できる情報は削除し、札幌医科大学附属病院小児科に提供されます。
個人情報の取り扱い	診療情報のうち個人情報が漏洩しないようプライバシー保護を遵守します。
お問い合わせ先	電話：(0125) 22-4311 研究責任者：小児科 永井和重